



お江戸舟遊び瓦版 1099号

水彩都市江東 ころこ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

本所防災館・防災体験学習会

日時：4月27日 9:30~12:15 所：本所防災館
主催：東京土建江東支部「れすきゅうこうとう希望」
はじめに

東京土建江東支部が加盟する「全建総連東京都連江東区建設協議会」は、江東区と災害時における応急対策業務に関する協定を2019年に締結しました。その一環として、防災体験学習会が計画された。

I. 救出救助コース

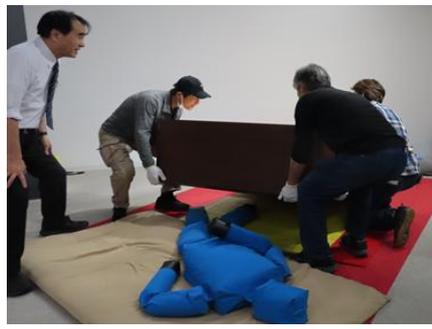
震災による倒壊家具や家具転倒などの被害を再現し救出救助に係る知識及び行動力を身に付けるコース。

まず初めに「直下地震は必ずやってくる」を観て、今後30年に70%の確率と予想されている



首都直下地震の予想される現実を認識させられた。江東区内の災害程度マップに身に積みされた。

次に家屋転倒で下敷きになった人の救出・救助を体験した。近くの人々の協力でタンスを持ち上げ、人の力ではふりならば、ボールや物干し竿等で持ち上げる。そして、担架、なければ物干し竿と毛布で担架もどきをつくり何とか被災者を運び出さねばならない。人命第一の判断が大切とのこと。



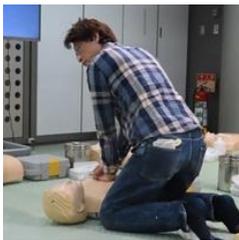
II. 自助公助コース

① 防災シアター

関東大震災体験者の方の記録をもとに造られた映像は圧巻だった。沢山の方が家財道具を荷車に積んで橋を渡り、墨田区の被服廠へ向かったが、道路は密集し、動くことができなくなり、火災が発生し家財とともに沢山の人が亡くなった。父母に死に別れたが、沢山の人の助けで生き延びたという物語。防災は近くの人と人との助け合い、**被害者もまた助け合い**に参加できると！！

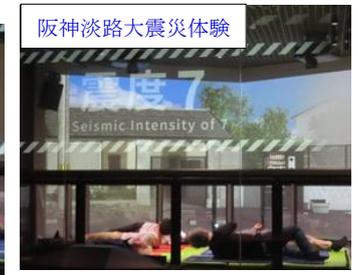
② 応急手当体験コーナー

事故等で心肺が止まった時には、AEDの対応ができるまで**心肺蘇生法**が必要だ。最初に周囲の安全、仲間に**救急車の要請**と**AED手配**を依頼し、1分間100～120回で**胸骨圧迫**をし続けます。



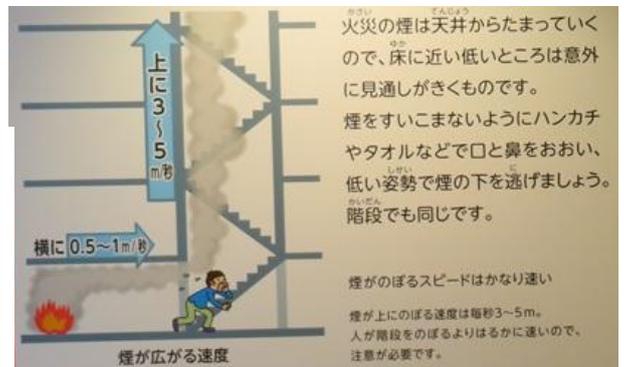
③ 地震体験コーナー

震度6から震度7の地震を体験することが、いざという時の場合に役に立つと地震体験がなされた。



④ 煙体験コーナー

火事場での煙は**大変危険な要素**になっている。身を低くして逃げなければならない。



⑤ 消火体験コーナー

関東大震災では火災で9万人、家屋倒壊で1万人が亡くなった。**まずは消火**が第一。



所感：東京土建江東支部防災体験学習会に参加させて頂いた。本所防災館は消防が中心で江東5区マイナス地域防災の**マイナス地域対応**ではないが、貴重な防災体験の学びであった。消防も警察も江東5区マイナス地域に住むすべての250万人に対応することは不可能で、**近所の人々との助け合い**が不可欠で、日常的な**人々の絆**をつくり出し続けなければならない。（文責 中瀬）